

電気ケトル

IKE-G1500T

取扱説明書



この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

保証書付 (裏表紙)

このたびは、お買い上げいただき
まことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- 使用する前に「安全上の注意」を必ずお読みください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

もくじ

ご使用の前に

安全上の注意	2
使用上の注意	8
各部の名称	9

取り扱いかた

使いかた	11
お手入れ	16

こんなときには

故障かな?と思ったら	18
仕様	21
保証とアフターサービス	22
保証規定	23
保証書	裏表紙

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を示す
記号です。



禁止を示す
記号です。



必ず行うことを
示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



水ぬれ禁止

- 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない
- 本体を水につけたり、本体に水をかけたりしない
火災・感電の原因になります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的に取り
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる火災・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源コードをたばねて通電しない
過熱してやけどや火災の原因になります。電源コードは、必ずのばして使用してください。
- 電源は交流100V、定格15A以上のコンセントを単独で使う
発火・火災の原因になります。
- 電源コードを傷つけない
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる火災・感電の原因になります。電源コードが破損したときは、修理専用コールへお問い合わせください。
- 乳幼児に電源プラグをなめさせない
けがや感電の原因になります。



- 水以外のものを沸かさない
牛乳・酒などは、沸き上がるときにふき出して、やけどの原因になります。
- 氷を入れて保冷用に使わない
結露が生じ、感電の原因になります。

安全上の注意 つづき



分解禁止

- 分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



- 満水表示 (MAX) 以上に水を入れない
お湯が吹きこぼれて、感電・やけど・けがの原因になります。
- 本体を傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動しない
お湯がこぼれて、やけど・けがの原因になります。



- キャップとふたは確実に閉める
お湯が吹きこぼれて、感電・やけど・けがの原因になります。
- 転倒しないように注意する
お湯がこぼれて、やけど・けがの原因になります。



- 注ぎ口に手を触れたり、顔を近づけたりしない
やけどの原因になります。特に小さなお子様や乳幼児には触らせないように注意してください。
- 注ぎ口をふきんなどでふさがない
吹きこぼれて、感電・やけどの原因になります。



- 直火 (ガス台など) や電磁調理器 (IHクッキングヒーターなど)、電気ヒーターなどの上に載せない
火災の原因になります。また、電磁調理器の上で使用すると、誤動作や故障の原因になります。



- 異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

発煙・火災・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 使用中時々電源が切れる
 - 触れるとピリピリ電気を感じる
- ➔使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコー
ルへお問い合わせください。



- 壁や家具の近くで使わない
蒸気や熱で壁や家具を傷め、変形・変色の原因になります。

- 不安定な場所で使わない
火災・やけど・けがの原因になります。

- 熱に弱いテーブルクロスや敷物などの上で使わない
設置場所が焦げたり、火災の原因になります。

安全上の注意 つづき



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生する内容を示しています。



- 使用中や使用後しばらくは高温部に触れない
- キャップを開けるときは、出る蒸気に触れないやけどの原因になります。



- 湯沸かし中は移動させない
- 湯沸かし中はお湯をつぎ足さないやけどの原因になります。



- 専用の電源プレート以外は使わない
- 電源プレートは他の機器に使用しない火災の原因になります。



- 後ろに傾けない
- 強くゆすらない
- 横に倒さない



- 本体は高温になるので直接手で触れないやけどの原因になります。



- お手入れは本体が冷えてから行う
高温部に触れるとやけどの原因になります。



プラグを抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く
絶縁低下による漏電により、火災・感電の原因になります。

使用上の注意

- 本製品は、本体と電源プレートに分かれています。
- 電源プレートは、**電源切/入**ボタンを押して電源を入れないと動作しません。また、本体を電源プレートから外すと、30分後に電源が切れます。
- 使用後しばらくすると、カチンと音がすることがありますが、これは熱せられたプラスチックや金属が冷めるときの音です。異常ではありません。

空だき防止機能

- 容器内が空のまま電源を入れると、空だき防止機能が働いて、自動的に電源が切れます。
そのような場合は、本体を電源プレートから外し、十分に冷めてから水を入れ、再度電源プレートの上に置いて、お湯を沸かしてください。

温度表示の温度とお湯の温度のばらつきについて

- 本製品の測温方式によるばらつきやご使用の環境により、電源プレートの温度表示に表示される温度と実際の温度に誤差が生じることがあります。

各部の名称



各部の名称 つづき

■ 操作パネル（電源プレート）

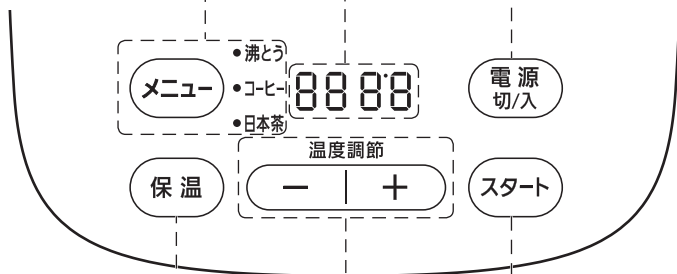
メニューボタン・ランプ

ボタンを押してメニューを切り替えます。選ばれているメニューが点灯します。(→P13)

電源切/入ボタン・ランプ

ボタンを押すとランプが点灯して電源が入ります。もう一度押すと電源が切れます。

温度表示



保温ボタン・ランプ

お湯が沸いた後に押すと保温を開始します。

スタートボタン・ランプ

ボタンを押すとランプが点灯して湯沸かしを開始します。もう一度押すと湯沸かしを中断します。

温度調節ボタン

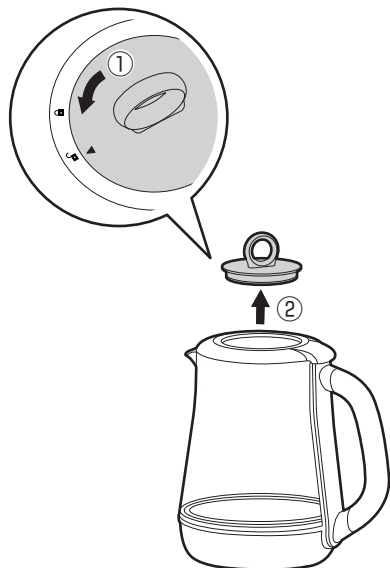
お湯を沸かす温度を設定したり、保温する温度を設定したりします。

使いかた

- 初めて使用するときや、長期間使用しなかったときは、一度お湯を沸かして捨ててください。

1 キャップ開閉つまみを回して (①) キャップを開け (②)、 水を入れる

※ 水以外のものは入れないでください。



- 必要な量の水を入れます。



※ 0.5L以上の水を入れてお使いください。

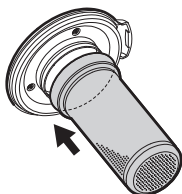


- 電源プレートに載せたままで水を入れしないでください。
- 満水表示 (MAX) 以上水を入れしないでください。注ぎ口からお湯がこぼれるおそれがあります。

使いかた つづき

茶こしの使いかた

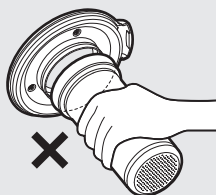
日本茶メニュー(→P13)でお茶をいれるときに茶こしを使うことができます。水を入れる前にふたを取り外し、ふたの裏側部分に力チツというまで茶こしを差しこんでください。



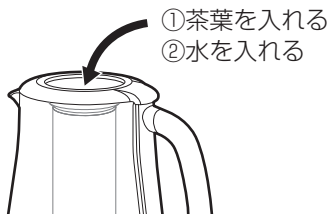
- 茶こしの中央部分を強く握らないでください。変形することがあります。



注意



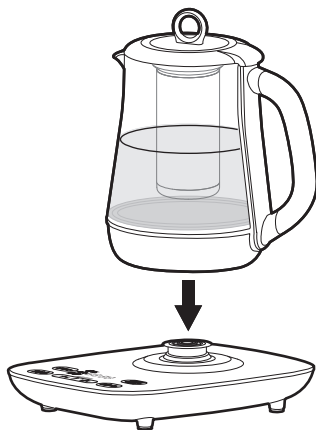
ふたを取り付けてから茶葉を入れ、水を入れてください。



- 日本茶メニュー以外のときは茶こしを取り外してください。

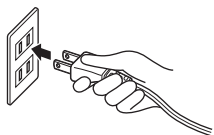
2 キャップを閉め、電源プレートの上にセットする

- ・電源プレートの凸部にセットしてください。
- ※正しくセットしないと、うまく加熱できないだけでなく、転倒して周囲の水ぬれの原因になります。
- ※本体の底や電源プレートの上にごみやほこりが付いてないことを確認してください。



- キャップやふたがきちんと閉まっていることを確認してください。キャップやふたがきちんと閉まっていないと、お湯が沸いても沸とうを検知できず、電源が切れないことがあります。

3 電源プラグをコンセントに差し込む



- ・ブザーが鳴り、電源切/入ランプが点滅します。



4 電源切/入ボタンを押して電源を入れる

- ・ブザーが鳴り、電源切/入ランプが点灯します。



- ・操作をしないまま2分経つと電源切/入ランプが消灯します。再度使用する場合は、電源切/入ボタンを押してください。



- 湯沸かしの最中や、湯沸かし直後は、絶対にキャップやふたを開けたり、お湯や水をつぎ足したりしないでください。やけどするおそれがあります。

5 お好みのメニューを選ぶ

メニューボタンを押すたびに沸とう、コーヒー、日本茶の順に切り替わります。設定したいメニューを選んでからスタートボタンを押すと、それぞれのメニューに適した温度設定で湯沸かしを開始します。



- ・各メニューの温度設定は次の通りです。

メニュー	温度
沸とう	100℃
コーヒー	90℃
日本茶	70℃

- ・温度を手動で設定することもできます。(→P15)

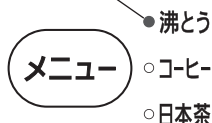
使いかた つづき

6 スタートボタンを押してお湯を沸かす

ブザーが鳴り、スタートランプとメニューランプが点灯します。



点灯



湯沸かしが完了すると、自動的に加熱を終了します。

- ・スタートランプが消灯し、ブザーが3回鳴ります。

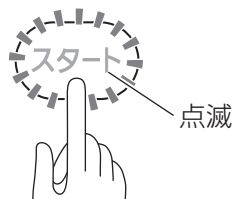


- ・保温ランプが点滅します。(→P15)



- ※保温ランプが点滅したまま2分経つと、保温ランプが消灯します。

- 湯沸かしを中断するにはスタートボタンを押してください。
- ・スタートランプが点滅し、湯沸かしを中断します。



7 お湯を注ぐ

電源切/入ボタンを押してください。

- ・保温ランプが消灯します。



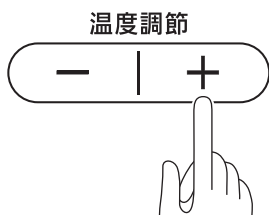
- ・沸とうがおさまってからお湯を注いでください。
- ※水のつぎ足しをくり返して長時間使用すると、水あかが付着したり、お湯が変質したりすることがあります。1日1回はお湯を捨ててください。



- 湯沸かし直後は、本体が熱くなっているので注意してください。

■ 手動で温度を設定する

温度調節ボタンを押して沸かす温度を設定してください。



- スタートランプが点滅します。
- 操作パネルの**温度表示**に温度が表示されます。
- 60℃～100℃の間で、5℃刻みで設定できます。
- **スタート**ボタンを押してお湯を沸かしてください。



- 湯沸かし中でも温度を変更できます。

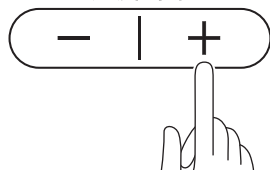
■ 保温

湯沸かしが完了してから**保温**ランプが点滅している間に**保温**ボタンを押すと、**保温**ランプが点灯し、保温を開始します。



- 保温可能な温度は60℃から95℃です。**温度調節**ボタンで保温する温度を変更できます。

温度調節



- もう一度**保温**ボタンを押すと、保温ランプが消灯し、保温が終了します。
- ※ 保温中も設定温度を変更できません。
- ※ **保温**ランプが点滅中に2分経つと、**保温**ランプは消灯します。
- ※ 保温中に本体を電源プレートから外しても、再度電源プレートに本体をセットすると保温は再開されます。
- ※ 保温を開始してから1時間経つと、**保温**ランプが消灯して保温を終了します。

お手入れ



- お手入れは、必ず電源プラグをコンセントから抜き、本体・電源プレートが冷めてから行ってください。
- 水で丸洗いはしないでください。

- みがき粉・たわし・シンナー・ベンジン・漂白剤などは使用しないでください。
- 食器洗い乾燥機に入れないでください。

■ 本体外側・電源プレート

水でぬらしてよく絞った柔らかい布で拭く

※ 汚れが取れにくいときは、薄めた台所用洗剤を含ませた柔らかい布で拭いた後、洗剤分が残らないように、かたく絞った布などで水拭きしてください。



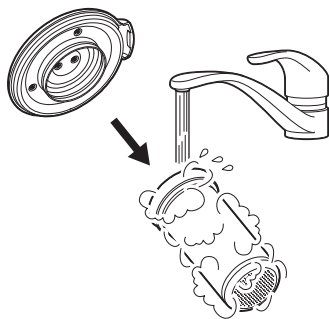
■ 本体内側

水でよくすすいだ後、乾いたふきんなどでしっかりと拭く



■ 茶こし

取り外して水洗いする



■ クエン酸洗浄

使用にともない、水の中に含まれるミネラル分が濃縮されて本体内側に付着します。これが固まると、湯沸かしの効率が落ちるなどの原因になります。

本体内側にミネラル分が付着してきたら、クエン酸洗浄を行ってください。

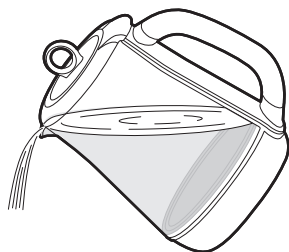
- ① 茶こしを外す
- ② 水を満水表示 (MAX) まで入れ、クエン酸 (市販品) 約 30g を入れて混ぜる



- ③ 茶こしを付けずにキャップを閉めて電源プラグを接続し、お湯を沸かした後、そのまま約1時間放置する



- ④ お湯を捨て、水で十分にすすぐ

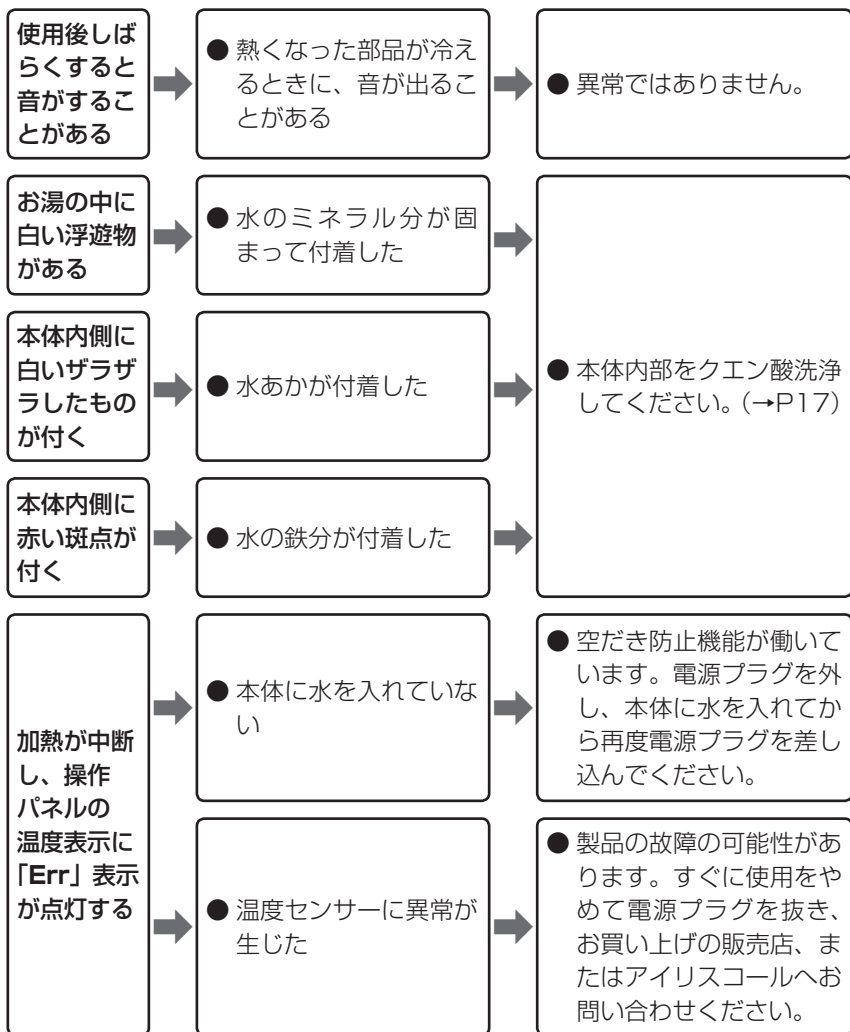


- ⑤ 水を満水表示 (MAX) まで入れてお湯を沸かし、沸とうしたらお湯を捨てる

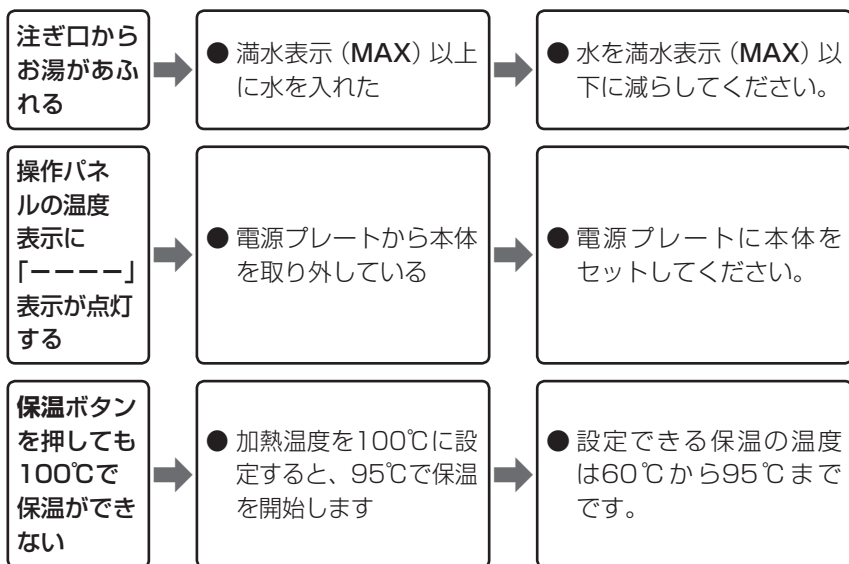
故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	考えられる原因	処置
電源切／入ランプが点灯しない	● 電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	● 本体が電源プレートに正しく載っていない	● 本体を正しく電源プレートに載せてください。
	● 電源プレートまたは本体底面の接続部にごみなどが付着している	● 接続部のごみを取り除いてください。
	● 空だきした	● 空だき防止機能が働いています。本体を電源プレートから外し、十分に冷めてから水を入れ、電源プレートに載せて、電源を入れてください。
電源切／入ランプが点灯しているのに、温度が上がらなくなった	● 空だきしたため、安全装置が働いた	● ケトル本体を電源プレートから外し、十分冷めてから水を入れて、再度湯沸かししてください。
低い温度で沸とうしてしまう	● 標高の高いところで使用している	● 標高が高いところでは水の沸点は低くなります。沸とうしても100℃にはなりません。



故障かな？と思ったら つづき



それでも解決できないときは

お買い上げの販売店、またはアイリスコールへお問い合わせください。



警告 ● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

お願い

- 箱から製品を取り出したとき、本体内側や底面に水が付着していることがあります。これは、湯沸かし検査などを行っているためで、十分拭き取っていても、製品内部などに残っている若干の水分が出てくるためです。初めて使用するときは、一度お湯を沸かし、お湯を捨ててください。

仕様

電源	AC100V、50 / 60Hz	
消費電力	1,200W	
湯沸かし容量	約1.5L	
電源コード長さ	約1.2m	
外形寸法	電源プレート含む	幅217×奥行222×高さ275mm
	電源プレート含まず	幅205×奥行155×高さ245mm
質量	電源プレート含む	1.7kg
	電源プレート含まず	1.0kg

- ※ 標高の高い場所、厳寒地などでは所定の性能が発揮できない場合があります。
※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

廃棄について

- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されている期間です。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご要望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後、5年間保有しています。

性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

長年ご使用の電気ケトルの点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 操作ボタンを押しても運転しないときがある
- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、変色したり、こげくさいにおいがある
- 電源コードに破れがある
- 運転中に異常な音や振動がする
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、すぐに運転を停止し、電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店またはアイリスコールに点検修理をご相談ください。

保証規定

- 1 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料にて修理または交換いたします。
- 2 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 3 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- 4 ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼にできない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 5 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - ①使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - ②お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - ③火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - ④一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
 - ⑤お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
 - ⑥本書の提示がない場合
 - ⑦本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 6 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 7 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

電気ケトル IKE-G1500T

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、裏面の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年	月	日	お買い上げ日より：1年間
お客様	お名前		※販売店 住所・店名
	ご住所 〒		
	電話 () -	電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00~17:00、土・日・祝日 9:00~12:00 / 13:00~17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通話料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>

メールフォームにご記入のうえ送信してください